

Quick × Quick

919919.jp

自動車業界動向

2023.06.19

クイック・ネットワーク株式会社



Quick Network
www.quicknetwork.co.jp

Quick×ワンプライス成約車輦 5月度ランキング

軽自動車



1位	タント 平均 H29年	855,000円
2位	N-BOX 平均 H29年	795,000円
3位	ハイゼットトラック 平均 H27年	703,000円
4位	ムーヴ 平均 H29年	643,000円
5位	ハイゼットカーゴ 平均 H28年	655,000円

コンパクト



1位	プリウス 平均 H29年	1,559,000円
2位	アクア 平均 H27年	871,000円
3位	ノート 平均 H30年	1,081,000円
4位	シビック 平均 H29年	2,697,000円
5位	フィットハイブリッド 平均 H28年	673,000円

ミニバン・1BOX



1位	アルファード 平均 H29年	3,255,000円
2位	ヴォクシー 平均 H29年	1,890,000円
3位	セレナ 平均 H27年	1,072,000円
4位	ノア 平均 H29年	1,712,000円
5位	シエンタ 平均 H30年	1,380,000円

SUV・クロカン



1位	ランドクルーザープラド 平均 H25年	2,894,000円
2位	ハリアー 平均 H29年	2,357,000円
3位	CX-5 平均 H28年	1,306,000円
4位	ヴェゼル 平均 H30年	2,072,000円
5位	RX 平均 H29年	4,140,000円

輸入車



1位	MINI 平均 H29年	1,822,000円
2位	3シリーズ 平均 H27年	1,531,000円
3位	Cクラスステーションワゴン 平均 H25年	1,392,000円
4位	1シリーズ 平均 H27年	1,003,000円
5位	Eクラス 平均 H26年	1,809,000円

バン・トラック



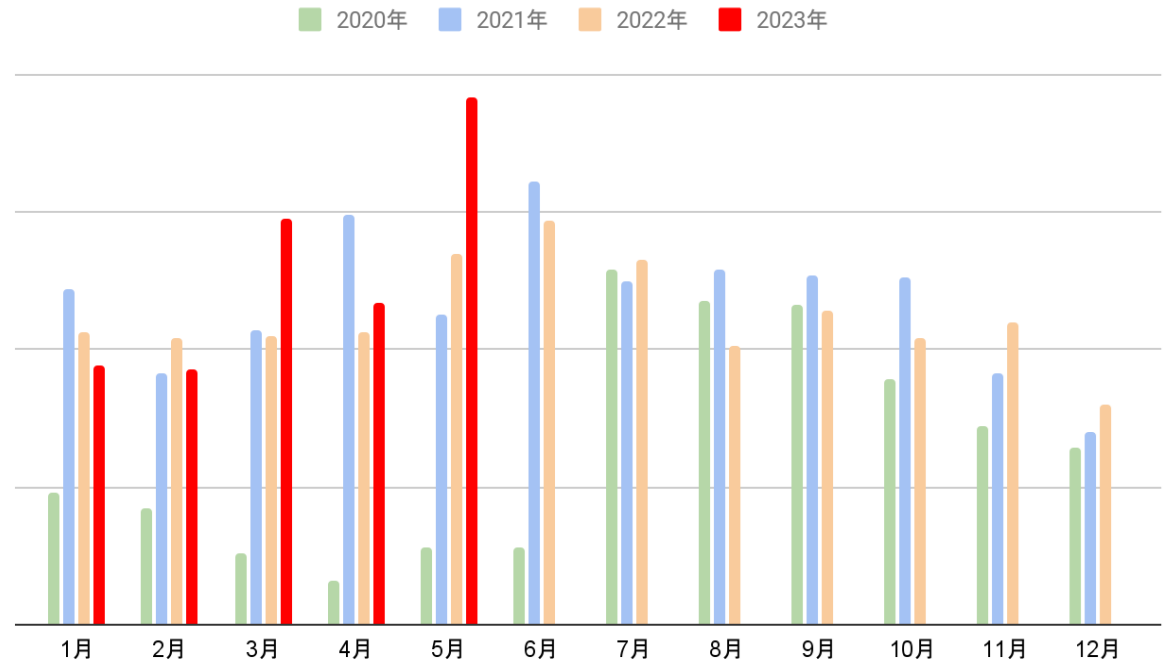
1位	ハイエースバン 平均 H28年	1,858,000円
2位	レジアスエースバン 平均 H26年	1,558,000円
3位	キャンター 平均 H22年	1,737,000円
4位	NV350キャラバンバン 平均 H28年	1,528,000円
5位	エルフトラック 平均 H23年	1,590,000円

中古車輸出情報

2023年5月 Quick×ワンプライス 輸出向け成約車両ランキング

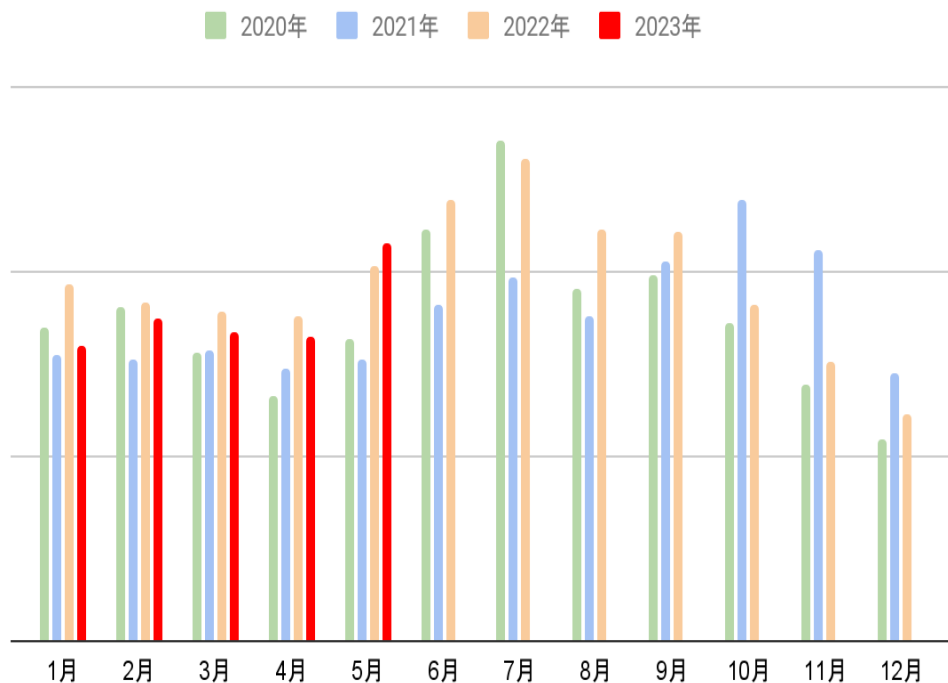
1位	ランドクルーザープラド	
	平均年式 H25年	平均金額 2,633,000円
2位	ヴァンガード	
	平均年式 H22年	平均金額 695,000円
3位	ハリアー	
	平均年式 H28年	平均金額 1,997,000円
4位	Eクラス	
	平均年式 H25年	平均金額 1,754,000円
5位	CX-5	
	平均年式 H27年	平均金額 1,246,000円

Quick×ワンプライス輸出向け成約台数

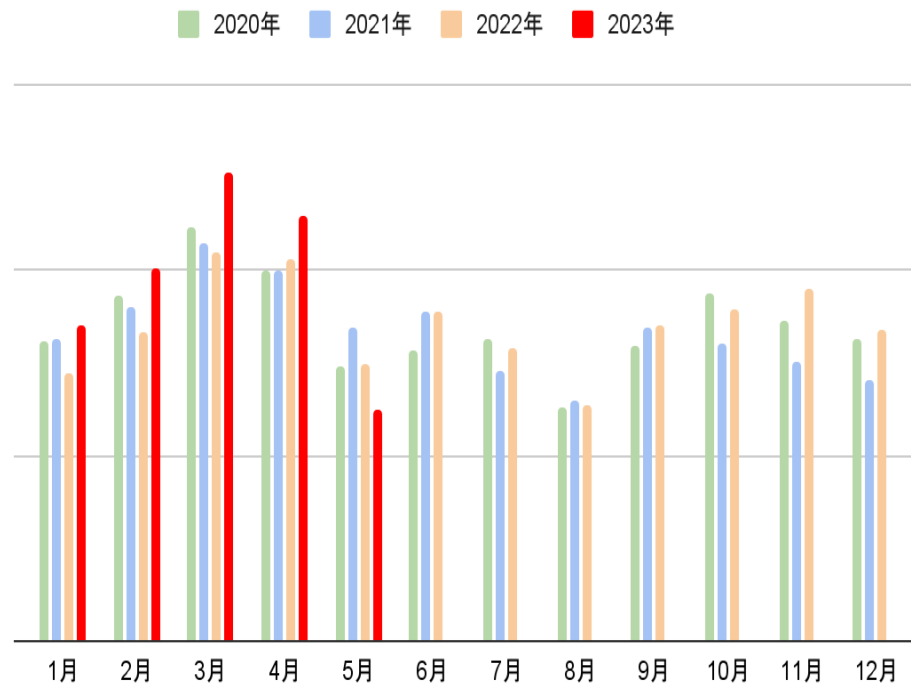


Quick×ワンプライス出品成約状況

Quick×ワンプライス入札件数



主要AA会場出品台数



前年5月
平均単価 169,4万円

→

今年5月
平均単価 173,8万円

前年5月
平均単価 69,2万円

→

今年5月
平均単価 49,6万円

2023年 5月 新車販売ランキング

乗用車				
順位	ブランド通称名	ブランド名	台数	前年同月比
1	ヤリス	トヨタ	12,714	102.5
2	プリウス	トヨタ	9,233	476.2
3	シエンタ	トヨタ	9,109	213.7
4	カロラ	トヨタ	8,771	93.1
5	ノア	トヨタ	7,077	260.2
6	ヴォクシー	トヨタ	6,913	320.5
7	セレナ	日産	6,655	258.2
8	ルーミー	トヨタ	6,405	83.1
9	アクア	トヨタ	6,292	191.4
10	ハリアー	トヨタ	6,193	194.3
11	フリード	ホンダ	5,854	86.8
12	ノート	日産	5,585	84.3
13	ライズ	トヨタ	5,205	142.5
14	ランドクルーザーW	トヨタ	3,885	137.8
15	ソリオ	スズキ	3,292	147.5

軽自動車				
順位	ブランド通称名	ブランド名	台数	前年同月比
1	N-BOX	ホンダ	13,967	161.8
2	タント	ダイハツ	11,208	265.5
3	ムーヴ	ダイハツ	8,193	135.0
4	スペーシア	スズキ	7,901	91.1
5	ワゴンR	スズキ	5,448	95.9
6	アルト	スズキ	5,397	120.9
7	ハスラー	スズキ	5,145	94.5
8	ミラ	ダイハツ	4,877	97.2
9	タフト	ダイハツ	3,898	139.1
10	ルークス	日産	3,747	64.7
11	ジムニー	スズキ	3,170	110.0
12	サクラ	日産	2,773	1557.9
13	デリカミニ/e K	三菱	2,513	114.9
14	デイズ	日産	2,375	92.5
15	N-WGN	ホンダ	2,269	95.4

「一般社団法人 日本自動車販売協会連合会」及び「一般社団法人 全国軽自動車協会連合会」より引用

自動車業界トピックス

日産自動車とTOPPANエッジ、車両位置をリアルタイムに管理する新たな物流管理システムを共同開発

日産自動車九州にて導入し、運用を開始



日産自動車九州埠頭エリア



作業による駐車車両の位置登録

日産自動車株式会社（以下、日産自動車）と、凸版印刷のグループ会社であるTOPPANエッジ株式会社（以下、TOPPANエッジ）は、完成車両位置をピンポイントかつリアルタイムに把握が出来る新たな物流管理システム（VPM*1）を共同で開発し、日産自動車の製造拠点の一つである日産自動車九州株式会社（以下、日産自動車九州）の敷地内にある車両センターにおいて、運用を開始しました。本システムは、完成車両の管理に要する情報登録時間の削減や、物流管理工程の効率化を実現しており、最終的には納車期間の短縮に貢献することを目指して運用しています。

本システムは、GPSとRFID*2を用いて、完成車両の位置情報をボタン一つで登録し、リアルタイムに把握できるシステムです。日産自動車九州にて生産した車両を、輸送に向けて埠頭エリアにて保管し、管理する工程に導入しました。

同社の敷地内にて完成車両の移動を行う作業者が、装着する専用デバイスのボタンを押すだけで、車両情報と位置情報を取得することができ、これまでは手作業で実施していた位置情報の登録や集計などの効率化を実現しました。また、完成車両の保管場所や、空きスペースを即座に把握出来るようになり、より効率的な車両管理が可能となります。

本システムは、日産自動車が有する完成車両物流のノウハウや技術と、TOPPANエッジが有するRFIDやGPS分野の技術を掛け合わせ、自動認識技術の完成車両物流への適用の可能性を検証しながら、開発に取り組んでまいりました。なお、GPSとRFIDを組み合



VPM装置と収納ケース（スマートフォン、RFIDリーダー、ボタン、収納ケース）

わせた完成車両の物流管理システムの本格的な運用は、自動車製造業において国内初の試み*3であり、日産グループ内での導入拡大に向けて検討を進めてまいります。また、日産自動車とTOPPANエッジの共同で本システムに関する特許の出願を行っています。

【本件に関する各社のコメント】

日産自動車株式会社

日産は、新車の企画から開発、生産、物流、販売まで全てのシーンで、お客さまに高い品質を提供するための活動に取り組んでいます。車両物流においても、クルマの品質を保つための細かい基準を各工程に設け、さらなる車両品質確保のために、業務効率化や保管エリアの有効活用、働きやすい職場づくりなどを目指してデジタル化を推進しています。今回、共同開発したシステムは、車両の位置把握のワンタッチ化に加え、移動履歴などの正確なデータ蓄積を実現しました。日産は、本システムを輸送業務におけるキーテクノロジーの一つと捉えて輸送品質の向上に積極活用し、お客さまにご満足いただけるクルマ作りを進めてまいります。

TOPPANエッジ株式会社

デジタルトランスフォーメーション（DX）の加速や、労働力不足・働き方改革を背景とした業務効率化の進展など、社会環境は大きく変化しており、既存の業務プロセスの効率化を目指すだけでなく、製品・サービスやビジネスモデルの変革を目指す世の中になってきています。「DX」に欠かせないキーテクノロジーとして、RFIDに代表される自動認識技術に注目が集まっています。TOPPANエッジでは過去20年来、RFIDの開発・製造に取り組み、さまざまなユースケースを実現してまいりました。これまでの経験値、蓄積した技術力を生かし、日産自動車と物流業務のDX化を実現することで、物流品質向上の一助となるべく、取り組みを進めてまいります。

*1 Vehicle positioning management systemの略。

*2 Radio frequency identificationの略。電波を用いて非接触でデータを読み書きする技術。

*3 TOPPANエッジ調べ

日産公式HPより

自動車業界トピックス

「FREED/FREED+」CROSSTARに特別仕様車「BLACK STYLE (ブラックスタイル)」を設定し発売



Hondaは、コンパクトミニバン「FREED (フリード)」「FREED+ (フリードプラス)」のクロスオーバースタイルのグレード、CROSSTAR (クロススター) に、より引き締まったデザインで個性のある上質な特別仕様車「BLACK STYLE (ブラックスタイル)」を設定し、6月9日 (金) に発売します。

フリードは、5ナンバーサイズの扱いやすいコンパクトなボディーながらも広い室内空間と多彩なシートアレンジを実現する、居住性と使い勝手の良さを兼ね備えた「ちょうどいい」クルマとして幅広い層のお客様からご好評をいただいています。

CROSSTAR特別仕様車「BLACK STYLE」は、ブラックをアクセントにすることで、より上質で洗練されたスタイルを目指しました。

フロントグリルガーニッシュ、リアライセンスガーニッシュにはブラッククロームメッキを採用、またCROSSTAR専用デザインの15インチアルミホイールやドアミラー、アウタードアハンドル、ルーフレールなどはブラックで統一しました。さらにフロント・リアともにロアースポイラー、ロアガーニッシュをガンメタリック塗装にすることでより引き締まった印象に仕上げました。

■特別仕様車「BLACK STYLE」の主な装備内容

- ・フロントグリルガーニッシュ (ブラッククロームメッキ) & フロントグリル (マットグレー)
- ・リアライセンスガーニッシュ (ブラッククロームメッキ)
- ・専用ステッチ (シルバー) コンビシート&インテリア
- ・ドアミラー (クリスタルブラック・パール)
- ・アウタードアハンドル (クリスタルブラック・パール)
- ・CROSSTAR専用デザイン 15インチアルミホイール (ブラック)
- ・LEDハイマウント・ストップランプ (クリアタイプ)
- ・フロントロアースポイラー&フロントロアガーニッシュ (ガンメタリック塗装)
- ・リアロアースポイラー&リアロアガーニッシュ (ガンメタリック塗装)
- ・ルーフレール (ブラック)

【FREED】

タイプ	エンジン	トランスミッション	駆動	乗員	価格 (消費税10%込み)
HYBRID CROSSTAR BLACK STYLE	1.5L アトキンソン DOHC i-VTEC + i-DCD	7速DCT	FF	6人乗り	3,033,800円
			4WD		3,198,800円
CROSSTAR BLACK STYLE	1.5L 直噴 DOHC i-VTEC	CVT	FF		2,703,800円
			4WD		2,868,800円

【FREED+】

タイプ	エンジン	トランスミッション	駆動	乗員	価格 (消費税10%込み)
HYBRID CROSSTAR BLACK STYLE	1.5L アトキンソン DOHC i-VTEC + i-DCD	7速DCT	FF	5人乗り	3,050,300円
			4WD		3,215,300円
CROSSTAR BLACK STYLE	1.5L 直噴 DOHC i-VTEC	CVT	FF		2,720,300円
			4WD		2,885,300円

※価格には、保険料、税金 (消費税を除く)、登録などに伴う費用は含まれません

※価格はメーカー希望小売価格 (消費税10%込み) で参考価格です。販売価格は販売会社が独自に定めています。詳しくは販売会社にお問い合わせください

※自動車リサイクル法の施行によりリサイクル料金が別途必要。リサイクル料金は、リサイクル預託金 (シユレッターダスト、エアバッグ類、フロン類のリサイクル等に必要費用、情報管理料金) および資金管理料金の合計金額

ボディーカラー

- ・ソニックグレー・パール (新色) ★
- ・トワイライトミストブラック・パール★
- ・シルバーミストグリーン・メタリック
- ・プラチナホワイト・パール★

★33,000円 (消費税10%抜き30,000円) 高となります

Honda公式HPより

自動車業界トピックス

スズキ・ダイハツ・トヨタ 商用軽バン電気自動車を公開



スズキ仕様



ダイハツ仕様
(イベント展示車両)



トヨタ仕様

スズキ株式会社（以下、スズキ）、ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）、トヨタ自動車株式会社（以下、トヨタ）は、3社で共同開発してきたBEVシステムを搭載した商用軽バン電気自動車（以下、BEV商用軽バン）のプロトタイプを、「G7広島サミット（主要国首脳会議）」に際し、5月18日（木）～21日（日）に一般社団法人日本自動車工業会の行う自動車業界のカーボンニュートラル（CN）達成に向けた取り組みを紹介する展示イベントで公開します。

このBEV商用軽バンの導入にあたっては、スズキ、ダイハツの小さなクルマづくりのノウハウとトヨタの電動化技術を融合し、軽商用車に適したBEVシステムを3社で共同開発しました。車両についてはダイハツが生産を行い、スズキ、ダイハツ、トヨタがそれぞれ2023年度内に導入する予定です。企画にあたっては、Commercial Japan Partnership Technologies株式会社（CJPT）も参画することで、効率的なラストワンマイル輸送に最適な仕様を追求しました。一充電当たりの航続距離は200km程度を見込んでおり、配送業等のお客様のニーズにしっかりと応ええる車両を目指して、現在開発を進めています。

今後もスズキ、ダイハツ、トヨタの3社は、プラクティカル（実用的）な形でサステナブル（持続可能）な移動手段の提供を通じて、CNの実現に向けた取り組みを推進してまいります。

スズキ公式HPより

『日産サクラ』と『eKクロス EV』 生産累計5万台を達成



日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：内田 誠 以下「日産」）、三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、社長：加藤 隆雄、以下「三菱自動車」）と株式会社NMKV（本社：東京都港区、社長：安徳 光郎、以下「NMKV」）は、31日、軽電気自動車（以下、「軽EV」）の『日産サクラ』と『eKクロス EV』を合算した生産累計台数が、生産開始から約1年で5万台に達した事を発表しました。

『日産サクラ』、『eKクロス EV』は、日産と三菱自動車の合併会社NMKVの企画・開発マネジメントのもと、両社の得意とする電動化技術を融合した新世代の軽自動車タイプの電気自動車です。両モデルは、「2022-2023日本カー・オブ・ザ・イヤー」、「2023年次RJCカーオブザイヤー」そして「2022～2023日本自動車殿堂カーオブザイヤー」など、数多くの賞典を受賞し、軽自動車+バッテリーEVという脱炭素時代における理想的なモビリティを実現した事などが評価されています。

両モデルを生産する三菱自動車の水島製作所では、EVのパイオニアである両社にとって過去最大規模の台数となるEV生産を成し遂げるために、世界初の量産電気自動車『アイ・ミーブ』や『ミニキャブ・ミーブ』で培った三菱自動車の軽EV生産技術、そして日産が持つ最新のEV生産技術を結集し、高い品質とコスト競争力での生産を実現しています。

日産、三菱自動車は、今後もNMKVを通じて、『日産サクラ』、『eKクロス EV』の更なる品質、商品性向上に取り組むと共に、より多くのお客様にお届けしてまいります。

日産公式HPより

Quick×Quick 便利ツール

1石12鳥! カンタン出品!
「安心落札! ワンプラの決定版」


Quick×Quick



Quick名変
車庫・名変・抹消・電子申請サービス

- 車庫と名変で**5,300円** (税込5,830円)
(手数料一律・OSS申請の場合)
- 全国の行政書士をマッチング
- アプリ無料
- 県外封印 (プライム会員のみ)

詳しくはコチラ ▶



Quick×スキップサポート
1,000万円の仕入れ資金サポートサービス!!
儲けのチャンスを逃しません!!



Quick×Quick 廃車出張買取サービス

買取金額
地域 No.1
挑戦中!!



Quick×輸送

オークション会場からの輸送も、個人宅への輸送もお任せ下さい!!

輸送料金
比べて下さい!!



Quick×モバイル

「出品車両メンテナンス / 出品車両検索・商談 / ヤフオクメンテナンス / Quick×輸送」



ヤフオク! 月額 10,000円(税込)で
出品し放題!!

台数無制限



Quick×Quick PRO
車販店の為のオールインワンプラットフォーム



Quick×Quick会員なら多くの便利なサービスをご利用頂けます!!